

「陸・海・空・宇の交通運輸を支える」

担当教員 北川徹哉

コース概要

日程 2019年8月27日～30日

場所 東京都、千葉県、茨城県

参加人数 25名

コースのねらい

社会と経済の基幹である陸上、海上、航空の交通運輸を支える現場、そして地上と宇宙とを結ぶ重要施設を訪れます。業務の魅力と重責を肌で感じましょう。

内容

行程1日目は、成田国際空港を訪れ、2名のガイドさんの案内で視察しました。学生は、第一ターミナルの屋上で滑走路全体を見わたしながら聞いた説明の中で、滑走路や誘導路の識別記号番号の意味が印象に残ったようです。国際空港ならではの各国の文化に配慮された施設にも感銘を受けていました。空港の業務の多くを学ぶことができ、また、成田国際空港の建設の闘争の爪痕を見ることもできました。第一と第二のターミナルを徒歩とバスで回ったので、学生はヘトヘトになっていました。

行程2日目は羽田空港の一画にある日本航空機体整備工場を訪問しました。巨大なドックに入ると複数の機体が整備中でした。整備士の方々が旅客機の各部で慎重に作業をしており、安全で円滑な運航と乗客の命にかかわる重責が伝わってきました。旅客機をこれほど近くで見る機会はありません。また、ジェットエンジンが整備されていたり、すぐ外の滑走路では旅客機が離発着し、迫力満点でした。



成田国際空港を視察



客の命にかかわる重責が伝わってきました。旅客機をこれほど近くで見る機会はありません。また、ジェットエンジンが整備されていたり、すぐ外の滑走路では旅客機が離発着し、迫力満点でした。

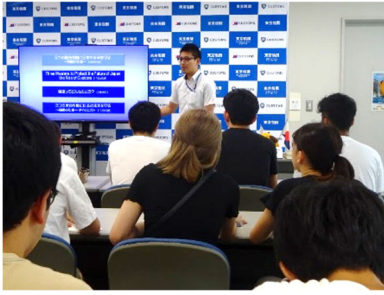


日本航空機体整備工場を訪問



行程3日目は、まず東京税関本関を訪問しました。税関の歴





東京税関本関を訪問



ヤマト運輸・羽田クロノゲートを見学



筑波宇宙センターを訪問

史や使命について説明いただき、円滑な海上・航空貿易を担っていることを知りました。また、違法な物品を取り締まるための探知機を見学させていただき、税関が安心して安全な日本の社会の実現を担っていることを実感しました。多くの学生さんが職員の方に質問していたのが印象的でした。東京税関本関を後にして直ちに、ヤマト運輸の羽田クロノゲートを訪れました。クロネコヤマト宅急便の国内・国際拠点であり、膨大な数の荷物が途切れることなく流れ、レーザー光がきらめく中、多様なセンサーとコンピュータ制御によって仕分けされてゆく様子はいつまで眺めていても飽きないと思うほどでした。また、近年の宅配便の発達、ならびに更なる付加価値の創造へ向けた事業展開も学ぶことができました。職員の方はとても丁寧に案内くださり、学生は楽しんでいました。

行程 4 日目は筑波宇宙センターを訪れ、敷地内をバスで移動しながら見学しました。国際宇宙ステーションでの生活を想定した閉鎖環境や低圧環境への宇宙飛行士の適応訓練設備などを見ることができました。とくに、国際宇宙ステーションの一部である「きぼう」の運用管制室では、今この瞬間の国際宇宙ステーションの様子が映し出されている大きなスクリーンとコンピュータ群に学生は圧倒されていました。地上から 24 時間体制で「きぼう」の運用を支えている管制官の働きぶりを見ることができ、本当に感動的でした。また、運用管制室の撮影は一切禁止されているため、スマホやカメラなどは事前に一旦預けることが義務づけられ、宇宙開発は機密の塊であるということも実感しました。

学習を終えて

「海外旅行に行くときくらいしか税関を意識しませんでした、とても重大な役割を果していて、日本を護っているのだと知りました。」(1 年女性) / 「羽田クロノゲートでは設備が想像よりもはるかにハイテクで驚きました。」(2 年女性) / 「今までの人生で最も近くで航空機を見ることができ、非常に興奮しました。」(3 年男性) / 「宇宙飛行士になるには英語力や体力が必要だろうとは思っていましたが、協調性がとても大切だと知り驚きました。」(1 年女性) / 「将来宇宙へ旅行することが普通になる日がくるかもしれない。そんな日が待ち遠しくなるような 1 日でした。」(1 年男性)